

行政視察研修報告



前回の議会だよりで、各委員会が行政視察研修に行ってきたことを報告しました。 今回は、研修で学んだ内容について報告します。

議会運営委員会・経済建設常任委員会合同視察研修

議会改革について(栃木県宇都宮市)

宇都宮市議会では、地産地消の推進に関する条例の制定、各会派代表者会議等を協議又は調整を行うための場としての位置付け、政務調査費の見直し等の積極的な議会改革を進めていました。八街市議会において、すでに行ってきた改革もありましたが、地産地消の推進に関する条例の制定については、地域で生産された農産物やその加工品を地域で消費する地産地消を推進するための基本理念や施策の基本的事項(地産地消を推進するための日の制定や市の給食等では市内産の農産物等の使用に努める等)などを定め、推進体制として市に地産地消推進計画の策定と地産地消推進組織の設置を義務づけるなど、宇都宮市議会が自ら発案して条例の制定をしていました。

・もおか環境パートナーシップ会議支援事業について (栃木県真岡市)

もおか環境パートナーシップ会議は、自治会、企業、各種団体、市民の代表者から組織する26名で平成18年2月に設立されており、パートナーシップ会議、地権者、市の3者において、雑木林の保全と活用に向けた協定を締結し、ボランティアによる森づくりグループを中心とした保全管理活動を行っていました。市の支援として、年間80万円を交付し、市(行政)も参加協力するという立場から事務局を市環境課内に置いて事務にあたっていました。美しい景観として、里山を保全するには、土地所有者の理解のもと、多くのボランティアによる参画や定期的な整備が不可欠であり、市(行政)だけでなく市民等が一体となった協働によるまちづくりが重要であるとのことでした。

総務·文教福祉常任委員会合同視察研修

・子ども起業塾について(群馬県前橋市)

未来の起業家をめざして!~学校にはない『物を売 る楽しさ』を体験しよう~をスローガンに掲げ、小学 校5年生から中学校2年生を対象に学校では体験でき ない「会社づくり」のためのセミナーを実施し、起業 家精神を養うとともに、社会・経済活動について興味 を持ってもらうことを目的とした事業でした。後援者 となった市内商店「ベイシア」の協力を得て、講義と 実演販売を夏休み期間中の1日間で実施していました。 「ベイシア」で季節的に余った商品やイベントの残りを 無償提供してもらい、店舗軒先で3班に分かれ、各々 が工夫を凝らし販売を行い、それにより発生した利益 を子どもたちに分配することにより、商売の大変さや お金の大切さを教えていました。子ども達に社会・経 済活動について興味を持ってもらう良い事業でしたが、 1回の対象人数が増やせないこと、後援者を確保する ことなどの問題点もありました。

・「あついぞ!熊谷」まちづくり事業について (埼玉県熊谷市)

全国的に有名な熊谷市の夏の暑さ、市のマイナスイメージを逆手に取った取り組みであり、「あつさ」をまちづくりに活かすことで、市民や企業の地域への関心を高め、市の一体感を醸しだしていました。「あついぞ!熊谷」 Tシャツを作り、この事業の象徴的なグッズとして低価格で販売し、「あついぞ!熊谷冠エントリー事業」、「あついぞ!熊谷U-18少年熱中大使」などの事業を実施し、多くの市民・事業者が自分たちの得意分野を活かしながら、まちづくりに係わり、まちの活性化につなげていました。

